

舞鶴市民新聞

発行所
 (株)舞鶴市民新聞社
 〒624-0905
 舞鶴市福来 912-1
 電話 0773-78-2055
 ファクス 0773-77-1750
 郵便振替口座 01000-4-42544

皇居・宮殿の「講書始の儀」で

「光に应答する分子」進講

東高出身の入江・立教大教授

第一人者の講義

年頭に於て天皇
 皇后陛下が学術各分野
 の第一人者から講義を受
 けられる「講書始の儀」
 が九日、皇居・宮殿であ
 り、東舞鶴高校出身の入
 江正浩・立教大学理学部



入江教授

教授(64)が「光に应答
 する分子」をテーマに進
 講した。

進講には、皇太子さま
 や皇族方のほか、ノーベ
 ル物理学賞を受賞した京
 都産業大学の益川敏英教
 授らが同席。入江教授の
 ほか、吉川忠夫・京都大
 学名誉教授の「後漢、六
 朝時代における中国人の
 仏教受容」、伊丹秀之・
 東京理科大学教授の「日
 本企業の人本主義システ
 ム」の講義を聴いた。

入江教授は、本社の取
 材に「古代の日本での染
 色(特に紫草をもちいた
 染色)からはじめ、合成
 染料の歴史、繊維を染め
 る染料から機能をもった
 染料などへの転換、現在
 の光ディスプレイ、有
 機ELテレビ、太陽電池
 などへの応用まで、分子
 光化学のこれまでの発展
 を講義しました。天皇、
 皇后陛下に何度もうな
 ずいていただけたこと、
 大変光栄に思っています。
 このような機会をい
 ただけたことは、研究者
 として無上の喜びであ
 り、多くの方に感謝して
 います」とメールを寄せ
 た。

入江教授は、東舞鶴高
 校第十七回卒業生(昭和
 三十七年)。京都大学工
 学部高分子化学科を卒業
 後、大阪大学産業科学研
 究所助教授、九州大学機
 能物質科学研究所教授、
 同大工学部教授を経て現
 職。平成十九年に紫綬褒
 章を受章している。